

2021年4月6日

コアセンター

主要解析項目以外の共変量に対してリスク比（オッズ比）及び
95%信頼区間等を表示することについて

エコチル調査のデータを用いた論文執筆時に、主要アウトカムに対して、主要曝露要因以外の共変量についての効果の指標（アウトカムが2値変数の場合のリスク比（オッズ比）及びその95%信頼区間、並びに、アウトカムが連続変数の場合の平均値の差の検定及びその95%信頼区間等）については、他の執筆者の課題と重複する可能性があることから、これまで示さないように求めてきた（明文化されていなかったが、前運営委員長からの運用としてきた）。

これについて、成果発表予定リスト、事前審査中の学術論文（執筆済み自由化課題）、および、論文執筆希望リストに、当該共変量を主たる要因とした課題がないこと、また、JECESグループ回覧を経て当該共変量についての主要アウトカムに対する効果の指標を表示することについて指摘がないことを条件に、この運用を変更し主要アウトカムとされる項目に対しての共変量の効果の指標を示すことを可とするか否かを2021年3月18日のユニットセンター連絡協議会で議論した。

その結果、主要アウトカムに対する共変量についての効果の指標の記載は必須ではないと考えられること、および、上記下線部のチェックを完全に行うことは投稿者に新たな負担がかかり、また、そのチェックの完全性には疑問が生じること等の理由から、これまでの運用を変更しない方針ということで、ユニットセンター連絡協議会において合意を得た。

但し、既に論文化された課題において当該アウトカムに対する主効果の指標が示されている項目についてはこの限りではなく、適切に引用したうえで、記載することを認めることが妥当と考える。

以上のことから、以下の運用について、本資料により明文化した上で、引き続き運用することとする。

- エコチル調査のデータを用いた論文執筆時に、主要アウトカムに対して、主要曝露要因以外の共変量についての効果の指標（アウトカムが2値変数の場合のリスク比（オッズ比）及びその95%信頼区間、並びに、アウトカムが連続変数の場合の平均値の差の検定及びその95%信頼区間等）については記載しない。
- 但し、既に論文化された課題において当該アウトカムに対する主効果の指標が示されている項目はこの限りではなく、適切に引用したうえで、記載してもよい。
- なお、論文の論理構成上、共変量候補について crude の検定結果等を示す必然性がある場合には、この限りではないが、その場合は最小限の事実の記載のみにとどめ、記述の仕方についても十分に配慮すること。記述内容がユニットセンター連絡協議会の合意の趣旨を逸脱するおそれがある場合には、投稿を承認しないことがある。

以上